

再公示：次の案件については4月10日に公示しましたが、応募がなかったため再公示いたします。

番 号：130180

国 名：カンボジア

担当部署：農村開発部水田地帯第一課

件 名：流域灌漑管理及び開発能力改善プロジェクト（頭首工の計画・設計・施工管理）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：頭首工の計画・設計・施工管理
- (2) 格 付：3号
- (3) 業務の種類： 専門家業務

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2013年12月上旬から2014年5月中旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.3M/M、現地 4.00M/M、合計 4.30M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
3日	120日	3日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：正1部、写4部
- (2) 見積書提出部数：正1部、写1部
- (3) 提出期限：9月25日(12時まで)
- (4) 提出場所：調達部受付（JICA本部1F）

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針
 - 1) 業務方針の的確性 6点
 - 2) 業務方法の整合性、現実性等 12点
 - 3) 当該業務実施上のバックアップ体制 2点
 - (2) 業務従事者の経験能力等
 - 1) 類似業務^{注1)}の経験 40点
 - 2) 対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域^{注2)}での業務経験 8点
 - 3) 語学力^{注3)} 16点
 - 4) その他学位、資格等 16点
- (計100点)

注1) 類似業務：頭首工の計画・設計・施工管理にかかる各種業務又は頭首工の計画・設計・施工管理を含む基幹灌漑施設の設計・施工管理業務

注2) 対象国／類似地域：カンボジア／全途上国

注3) 語学の種類：英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

カンボジア国の農業は、国内総生産（GDP）の34.4%、就業人口の60%以上を占める重要な産業であり、国家開発政策上でも重点分野とされている。しかし、広大な農地と豊かな水資源に恵まれているにもかかわらず、長期にわたる内戦により農業関連インフラが破壊され、その後も農業生産性は低いままとなっている。このため灌漑施設を管轄するカンボジア水資源気象省（Ministry of Water Resources and Meteorology：MOWRAM）では、内戦時に荒廃した中小規模の灌漑施設の改修と適正な維持管理に取り組んできた。

このような背景から、JICAは2001年1月から2009年7月までMOWRAMをカウンターパート（C/P）機関として技術協力プロジェクト「灌漑技術センター計画（フェーズ1及びフェーズ2）」を実施してきた。フェーズ1では、灌漑分野の人材育成の基幹組織である灌漑技術センター（Technical Service Center for Irrigation and Meteorology：TSC）の設立支援、末端圃場整備に係る研修教材・マニュアルの整備、対象州水資源気象事務所技術者（以下、州事務所技術者）の研修を行い、フェーズ2では、同じく末端圃場整備に係る研修の継続、モデルサイト内水路・関連施設の建設支援と指導（計画、路線測量、維持管理等）を行った。これらの結果、TSC及び州事務所の技術者は末端圃場レベルでの灌漑事業に係る知識・技術力をほぼ習得するに至った。

しかしながら、灌漑事業においては、流域単位での計画策定を含め灌漑システム全体に関する技術能力がさらに求められることから、カンボジア政府は我が国に対し、流域単位での水資源及び灌漑事業開発の実施促進に向けた、①TSCの研修実施及び技術支援のさらなる機能強化、②州事務所技術者の総合的な灌漑技術能力向上に必要な実務研修の促進や技術支援体制の整備、③農民への技術支援を目標とした技術協力プロジェクトを要請し、これを受けて当機構は、2009年9月から2014年9月までTSC及び州事務所をC/P機関に、フェーズ3として「流域灌漑管理及び開発能力改善プロジェクト（本プロジェクト）」を実施しており、現在長期専門家3名（プロジェクトチーム）を派遣中である。

本プロジェクトでは、基幹灌漑施設（幹線水路、頭首工、貯水池堰堤（堤高15m未満の低ダムレベル））関連技術に関する技術移転を計画・実施しているところであり、2011年度に幹線水路の設計、2012年度に貯水池堰堤（堤高15m未満の低ダムレベル）の計画・設計・施工管理に関する教材の作成及び研修を実施した。また、カンボジア国においては、流水による分散性又は侵食性の高い土壌が広く分布していることから、今後水路の建設に当たり土質安定剤の適切な使用により経済的で耐久性の高い水路建設が期待されることとあり、2012年度にカンボジア国の土質条件に合わせた土質安定剤の検討のための調査・分析、盛土管理に関する技術移転を実施した。

7. 業務の内容

本業務は、本プロジェクト長期専門家及びC/Pと協働で、これまでのプロジェクトの成果を基に、頭首工の計画・設計・施工管理及びより経済的で耐久性の高い適切な水路設計・施工を目指すために土質安定剤を使用した水路の施工後の調査、検証方法等に関する技術移転を行うとともに、これらを通じて幹線水路の計画・設計に関するC/Pの更なる技術習得を支援することとし、併せて研修テキスト作成とC/P機関の実施する研修の指導等を通じてC/Pの技術習得を支援することを目的としています。

なお、頭首工の計画・設計・施工管理には、幹線水路に関する基礎的な知識や技術を習得していることが前提となるため、2011年度に実施した幹線水路の計画・設計に関する技術移転内容を補強しながら、頭首工に係る指導を行うこととします。具体的な業務の内容は以下のとおりです。

(1) 国内準備期間（2013年12月上旬）

- 1) プロジェクト関連資料（詳細計画策定調査報告書、中間レビュー調査報告書、技術協力プロジェクト事業進捗報告書、プロジェクト活動報告、研修教材等）を確認し、プロジェクトの内容及び進捗状況について把握する。
- 2) プロジェクトとの連絡・調整に基づき業務内容を検討し、現地での活動計画、C/P機関への指導内容及び工程（案）を記載したワーク・プラン（和文・英文）を作成し、監督職員に提出・説明する。

(2) 現地派遣期間（2013年12月上旬～2014年4月上旬）

- 1) ワーク・プラン（英文）を基に、C/P及びプロジェクト専門家と、現地派遣期間中の業務工程、業務方針について詳細を打合わせる。
- 2) 頭首工の役割・構成・付帯する施設の機能及び計画（設計・施工に必要な調査を含む）・設計（水理設計、構造設計）・施工管理に関する現地指導用教材、テキスト（研修資料や技術マニュアル）（英文）及びカリキュラムの作成を支援する。
- 3) 頭首工の役割・構成・付帯する施設の機能及び計画（設計・施工に必要な調査を含む）・設計（水理設計、構造設計）・施工管理に係る研修を、C/P機関が実施するための技術指導を行う。
- 4) モデルサイトの灌漑施設において土質安定剤を使用した水路の施工後の調査、分析、検証方法、留意点をC/P機関と共にとりまとめ、耐久性の高い水路建設の技術移転を行う。
- 5) 幹線水路の計画・設計に関する現地指導用教材・テキスト（研修資料や技術マニュアル）（英文）及びカリキュラムの改訂・作成を支援する。
- 6) カンボジア国の土質条件に合わせた土質安定剤の検討・試験に関する現地指導用教材・テキスト（研修資料や技術マニュアル）（英文）及びカリキュラムの改訂・作成を支援する。
- 7) カンボジア国の土質条件に合わせた土質安定剤の検討のための調査・分析・盛土管理に係る研修を、C/P機関が実施するための技術指導を行う。
- 8) 現地業務結果報告書（英文）を作成し、C/P機関、プロジェクトチーム、JICAカンボジア事務所に提出し、報告する。

(3) 帰国後整理期間（2014年4月中旬）

専門家業務完了報告書（和文）を作成し、監督職員に報告する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（3）専門家業務完了報告書とする。

(1) ワーク・プラン（和文3部：監督職員、プロジェクトチーム、JICAカンボジア事務所、英文4部：監督職員、プロジェクトチーム、JICAカンボジア事務所、C/P機関）

(2) 現地業務結果報告書（英文3部：監督職員、プロジェクトチーム、JICAカンボジア事務所）

記載項目は以下のとおり。

1) 業務の具体的内容

2) 業務の達成状況

なお、現地業務結果報告書には以下のものを添付することとする。

ア 頭首工に関する計画・設計・施工管理に関する現地指導用教材、テキスト（研修資料や技術マニュアル）

イ 幹線水路の計画・設計に関する技術指導及び現地指導用教材、テキストの改訂版

ウ カンボジア国の土質条件に合わせた土質安定剤の検討・試験に関する技術指導及び現地指導用教材、テキスト（研修資料や技術マニュアル）の改訂版

(3) 専門家業務完了報告書（和文3部：監督職員、プロジェクトチーム、JICAカンボジア事務所）

記載項目は以下のとおり。

1) 業務の具体的内容

2) 業務の達成状況

3) 業務実施上遭遇した課題とその対処

4) プロジェクト実施上での残された課題

5) その他

なお、現地派遣期間中は、業務従事月報を作成し、JICAカンボジア事務所に提出することとする。

体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。

留意点は以下のとおり。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積を計上して下さい）。航空賃については、成田（日本）ープノンペン（カンボジア）間のみを計上して下さい。

さい。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

1) 現地業務日程

現地派遣期間は2013年12月9日～2014年4月4日を予定しています。

2) 現地での業務体制

本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです（本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています。）。

- ・ チーフ・アドバイザー／流域灌漑・開発（長期派遣専門家）
- ・ 参加型水管理（長期派遣専門家）
- ・ 業務調整／研修（長期派遣専門家）
- ・ 流域灌漑利水管理・設計施工管理支援（短期専門家：2013年10月～2014年2月派遣予定）

3) 便宜供与内容

プロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ① 空港送迎
なし
- ② 宿泊手配
なし
- ③ 車両借上げ
モデルサイトへの移動に係る車両の提供
- ④ 通訳備上
なし
- ⑤ 現地日程のアレンジ
プロジェクトチームが必要に応じアレンジします。
- ⑥ 執務スペースの提供
プロジェクトオフィス内の執務スペース提供（ネット環境完備）

(2) 参考資料

- 1) 本業務に関する以下の資料を当機構農村開発部水田地帯第一課（TEL:03-5226-8446）にて配布します。

- ・ Guidance & Manual on Basin Wide Irrigation Planning

- 2) 本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・ プロジェクト概要

- (<http://www.jica.go.jp/project/cambodia/005/outline/index.html>)

- ・ プロジェクト基本情報（ナレッジサイト＞プロジェクト情報＞スキーム別&国別一覧＞プロジェクト基本情報）

(3) その他

- 1) 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます（冒頭留意事項参照）。

- 2) 土質分析を含んだ頭首工の計画・設計又は施工業務の経験があることが望ましい。
- 3) カンボジア国内での作業においては、機構の安全管理措置を遵守するとともに、機構総務部安全管理室、JICAカンボジア事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとする。

以上

